

市大病院情報誌



そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

Contents 2020年1月 第37号

- ▶ 小児整形外科外来を開設しました
- ▶ 加齢による物忘れと認知症の違いについて
- ▶ 注目!! 脾臓がん
- ▶ 弁膜症は切らずに治せる? ~低侵襲心臓カテーテル治療の紹介
- ▶ 膀胱がんに対する新たな治療法について
- ▶ 当院におけるアトピー性皮膚炎に対する取り組み
- ▶ 楽しい病棟イベントで、こどもたちに夢と希望を!
- ▶ 医療費あと払いサービスを導入しました
- ▶ 認定看護師の活動について
- ▶ 院内イベント情報



診療科紹介 生活習慣病・糖尿病センター

小児整形外科外来を開設しました

整形外科内において、「小児整形外科」外来を新たに開設しました。「こども」は「小さな大人」ではなく、診察に工夫が必要であること、こどもに特有の疾患が多いこと、などから、大人とは異なる対応が要求されます。

対象はこどものあらゆる運動器疾患で、具体的には、以下のような疾患です。

- ・股関節疾患(乳児股関節脱臼、大腿骨頭すべり症、ペルテス病など)
- ・四肢先天異常(多指症、合指症、先天性内反足など)
- ・下肢疾患(脚長不等、内反膝・外反膝など)
- ・四肢骨折・外傷(骨折、変形治癒など)
- ・筋性斜頸

対象疾患にかかっているお子さまがおられましたら、ご相談ください。大学病院という事情もあり、緊急での処置・手術が必要な疾患に対しては、対応が難しいこともありえますが、関連施設とも連携して対処してまいります。(整形外科 中川 敬介)



筋性斜頸



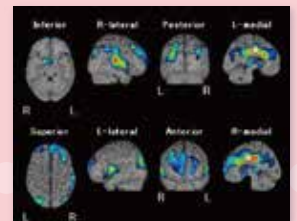
母指多指症



先天性内反足

加齢による物忘れと認知症の違いについて

物忘れは認知症の症状のなかでも最も早期からみられる症状の1つですが、加齢によっても物忘れは起こります。加齢によって起こる物忘れは、ある出来事や体験したことの一部を忘れるため、覚えていることを手がかりに忘れたことを思い出すことができます。一方で、認知症の物忘れは出来事や体験そのものを忘れてしまうため全く思い出すことができません。これらは初期の物忘れの場合、なかなか判断が難しいことが多いです。アルツハイマー型認知症では海馬の萎縮がみられることが有名ですが、病初期では分からないこともあります。ただ脳血流SPECTを使えば、アルツハイマー型認知症の場合、病初期から後部帯状回・楔前部という領域に血流低下がみられるので、アルツハイマー型認知症の診断が可能になります(図)。



アルツハイマー型認知症の患者さまの脳血流低下 (黄色の円:後部帯状回・楔前部)

当院では、軽い物忘れのみの軽度認知障害も含め認知症または認知症に進む恐れのある患者さまを数多く診療しています。物忘れについてお悩みの方は、当院の認知症疾患医療センター(神経内科)までご相談ください。

(神経内科 武田 景敏)

注目!!

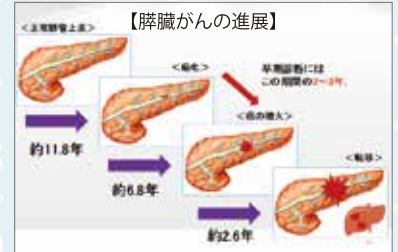
膵臓がん

皆さま、膵臓がんになったら、もうダメだという印象があると思います。しかし、早期に発見され(1cm未満)、適切な治療が行われた場合、5年後の生存率は80%と報告されています。少しお持ちの印象とは異なるのではないのでしょうか？

膵臓がんは怖い病気ですが、早期に発見、診断できれば大きく変わります！早期発見には、画像による検査や皆さまの危機管理が重要になります。以下の項目に思い当たる皆さまは、一般の方に比較し膵臓がんの危険性が高くなりますので、腹部超音波検査やMRI検査、超音波の装置を搭載した胃カメラ検査などをご検討ください。

- ・膵炎や膵臓がんになったご家族がいる方
- ・糖尿病や肥満、慢性膵炎、膵臓に嚢胞のある方
- ・喫煙や飲酒、塩素化炭化水素暴露のある方

当院では、膵臓がんを早期に発見、診断しベストな治療を受けていただけるように努めております。膵臓がんが心配な方は、是非かかりつけの医師に当院への受診をご相談ください。
(消化器内科 丸山 紘嗣)

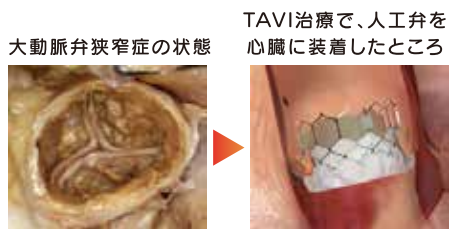


弁膜症は切らずに治せる？～低侵襲心臓カテーテル治療の紹介

「その息切れ、弁膜症かも？」というコマーシャルが流れるくらい心臓弁膜症(心臓の出口や中にある弁の障害)の患者さまが増加しています。中でも高齢化社会において動脈硬化により起こる大動脈弁狭窄症の罹患率増加が問題になっています。病状が進んだ際に、一昔前は心臓を止めた状態での手術しか方法はありませんでした。現在では、カテーテルを用いて人工弁を心臓に装着する弁置換術(TAVI[タビ]治療と呼ばれます)により、心臓を止めることなく30



TAVI治療200例を記念して。



カテーテル治療にて30分程度で根治！

分程度で治療を終えることができます。当院は心臓血管外科、麻酔科などチームで連携し2019年10月までに300例以上の治療経験を有し、TAVI指導施設に認定されています。弁膜症と診断されてお困りの患者さまは循環器内科外来までご相談ください。

(循環器内科 水谷、岩田、葎山)



TAVI治療300例を記念して。これからも安全で最適な治療を行えるように、がんばります！

膀胱がんに対する新たな治療法について

膀胱がんの治療方法は約10年間大きな変化が見られませんでした。近年飛躍的な進歩を遂げています。今回はその中から2つを紹介します。

まず、がんが筋層まで浸潤した進行がんでは膀胱を摘出する膀胱全摘除術が適応となりますが、2018年4月より手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を利用した腹腔鏡下手術が保険収載され当院でも積極的に行っています。これまで大きな合併症もなく、出血量および輸血量の低下に寄与しています。

もう一つは転移を来たした膀胱がんに対する2次治療の変化です。これまでは化学療法しかありませんでしたが、現在、免疫チェックポイント阻害剤による治療が可能となり、化学療法などによる副作用の軽減に寄与しています。

上記治療を含めて当科では膀胱がんに対して最新の治療を安全に行うことができますので、お困りの場合はぜひご相談ください。
(泌尿器科 加藤 実)



ロボット手術のイメージ



手術風景

当院におけるアトピー性皮膚炎に対する取り組み

アトピー性皮膚炎は、かゆみの強い湿疹を伴うのが特徴的で、しかもその症状が繰り返して良くなったり悪くなったりするため、日常生活に支障を来すことも多い皮膚の病気です。治療法としては、皮膚のバリア機能を補助する保湿剤や、炎症を抑えるためのステロイド外用剤などが中心ですが、近年、アトピー性皮膚炎の原因分子を標的とした新しい注射薬の使用が承認され、その効果が注目されており、同薬剤による治療は当院でも行っております。しかしながら、アトピー性皮膚炎の患者さまの中には、ステロイド外用剤に対する恐怖感から、使用量が十分でない方も多くおられ、外用剤の塗り方の指導を行うだけで症状が劇的に改善することもあります。当院では、そういった患者さまに対して、アトピー性皮膚炎に対する基本的知識やスキンケアの基礎知識も含めた教育入院も積極的に行っております。是非、当科へご相談ください。



患者さまのお話をよく聞いて、適切なアドバイスを致します。

(皮膚科 菅原)

楽しい病棟イベントで、子どもたちに夢と希望を!

入院して検査・治療を頑張っている子どもたちに、少しでも楽しみを見出してもらえたらと、毎月、小児医療センターでは四季折々のイベントを行っています。

卵オーケストラやお話会、工作の時間などがあり、もっとも大きなものは夏祭りとクリスマス会です。

夏祭りでは栄養部や看護学生・医学生のボランティアスタッフとともに、ヨーヨーつりや輪投げなどのゲームをしたり、普段病院食には出てこない唐揚げ・綿菓子などのおやつを出したりしています。クリスマス会では医師・看護師や院内学級などによる出し物、ボランティアの方々からのプレゼント贈呈などを行い、病院

でサンタクロースに会うことができます。

子どもたちに夢と希望を持ってもらえることを願いつつ、たくさんのボランティアスタッフの協力のおかげで、毎月イベントを開催できることに感謝しています。

(17階西病棟 小児医療センター)



小児医療センターにもサンタクロースがやってきました。どんなプレゼントをもらえるかウキウキ、ドキドキです。

夏祭りのヨーヨーつり。水につかりながら子どもたちが大奮闘！何個つれるでしょうか？



医療費あと払いサービスを導入しました

当院では、患者さまの支払い方法等、利便性の向上を目的に2019年7月1日より、外来部門に医療費あと払いサービス(有料)を導入しました。医療費あと払いサービスでは、診察後に病院1階18番窓口にて診察券を提示するだけでご帰宅頂けます。医療費のお支払い方法は、口座振替や携帯電話料金との合算払いなどからご選択頂くことができます。また、会員登録後もサービス利用は任意ですので、お急ぎの際にのみ利用する等、ご予定

に合わせてご利用いただけることも魅力です。

導入初日より数多くのご利用をいただいております。利用される方も増加している好評のサービスです。サービスの利用には事前の会員登録が必要となりますので、詳細は院内各所に設置しているパンフレットにてご確認ください。

(医事運営課)



当院ホームページでも、詳しくご紹介しています。

診察後すぐ帰れる
医療費あと払い



医療費あと払いは、この看板を目印にお越しください。

シリーズ 診療科紹介 生活習慣病・糖尿病センター

当科では、糖尿病を中心に脂質異常症、肥満症なども含めて診療を担当しております。『現代の国民病』ともいえる糖尿病は、患者さま自身は症状に乏しく軽視されがちですが、適切な治療とケアをせずに放置すると重篤な合併症にいたりします。最近では、さまざまな新しい治療薬や血糖測定システムなどが導入され治療法も大きく進歩しています。当科では、最新の検査や治療を導入し、持続血糖モニターやインスリンポンプの専門外来（iPumpCGM 外来）、フットケア外来（糖尿病足病変の予防治療）、腎症進行予防外来（腎障害から透析への進行予防治療）を創設し、看護師、栄養士などの多職種専門チームで対応しております。

また、がん、手術、ステロイド治療を受けられる入院患者さまは、より良い血糖コントロール状態で治療を受けることが大切です。当科では、糖尿病コントロールチーム（DCT）が、院内すべての病棟にうかがい良好な血糖コントロールのもとでがんや手術治療をおこなえるように主治医と相談しながら診療にあたり、安全、安心の高度専門医療の提供に努めております。

（生活習慣病・糖尿病センター 絵本）



生活習慣病・糖尿病センター
外来担当医

シリーズ 第12回 ～認定看護師の活動について～

当院では、専門的な知識と視点を持つ認定看護師・専門看護師が協力しながら対応・活動しています。

今回は、「がん放射線療法看護認定看護師」についてご紹介します。

放射線療法はがん治療の3本柱の一つです。その適応は広く、がんを完全に治す根治治療から、痛みをとるなどの緩和治療まで様々です。

私たち放射線治療科の看護師は、多職種メンバーと連携し、医療チームとして多方面から患者さまのサポートを行っています。

放射線治療の仕方や患者さまの状態によって、副作用の出方は異なりますが、個々に応じて身体のみならず、気持ちのつらさに対してもサポートを行っています。また、仕事や普段の生活と両立して治療が継続できるように、治療時間などのご要望にも柔軟に対応しています。

現在通院中の患者さまだけでなく、放射線療法を主治医から提案された患者さま、放射線療法を終了された患者さまも何かご不明な点があれば何なりと相談にお越しく下さい。お待ちしております。

（がん放射線療法看護認定看護師 山崎 仁美）



認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。
※公益社団法人日本看護協会ホームページから引用 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cn>

院内イベント情報

令和2年
2/20
(木)

ワークショップ
はりねずみによる
かめさんストラップ作り
時間 13:00～15:00
場所 病院 18階 第5会議室

令和2年
2/27
(木)

コンサート
ドリーム・サポーターズ
による演奏・合唱
時間 15:00～16:00
場所 病院 5階 講堂

※日程及びイベント内容については変更する場合がございます。予めご了承のほどお願い申し上げます。

発行 / 大阪市立大学医学部附属病院

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地：〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
電話：(06) 6645-2121 (代表)

初診受付時間：午前8時45分～午前10時30分
休診日：土・日・祝日、12月29日～1月3日